



盛岡ジャズオールスターズ
代表 作山 篤

気がついてみると、あっという間に35年が過ぎていた。学校を卒業後、盛岡に帰って間もなくしてから「盛岡ジャズオールスターズを結成するけどトロンボーンがないから、来ないか」と声をかけられた。

当時の盛岡には、ビッグバンドがなかった。大人っぽいカッコいい。迫力あるサウンド…学生時代からずっと憧れていたビッグバンド。その一員に自分もなれると考えるだけでワクワクした。だから迷わず入団した。

楽器も買い換えた、レコードもたくさん買って演奏をまねた。コンサートもいっぱい開催した。

とにかく、バンド活動さえしていれば幸せな日々だった。

県内はビッグバンドの活動が盛んで、当時10数団体を数えていたバンドが、今では5団体と、半分以上に減った。

今思うことは、このすばらしいビッグバンドを将来永遠に存続させることが、今の自分の役目と思っている。自分が経験した音楽活動のすばらしさを若いみんなにも伝え、今後ますますビッグバンドの活動が盛んになり音楽振興に寄与できればと思う。

この「盛岡ジャズオールスターズ結成35周年記念リサイタル」を通して、メンバーだけではなく、みんなと一緒にビッグバンドジャズのすばらしさを共感し合い、「岩手をまたビッグバンド王国」にしたい。



盛岡ジャズオールスターズ
顧問 箱石 啓人

私が音楽活動の拠点を東京から盛岡に移して、IBCニューサウンズOrch.のコンサートマスターとなって何年か過ぎた頃、若手のメンバー達に「MJA」の発足の相談を受けた。

勿論協力するから頑張りなさいと言ったがあれから35年かあ…

その時の自分の年齢は今から35を引けば良いわけだけど、若かったなあ…

MJAは、それからメンバーも入れ替わりしながら今日がある。

岩手県にはビッグバンド連盟があり、県内各地にビッグバンドがあって年一回持ち回りで合同コンサートが続けてきたが今は一つ欠け二つ欠けと寂しくなっている。

私は永六輔さんに「こういう活動は貴重なので大事にしてあげて下さい」と言われたこともあり、色々協力してきたけれども、やっぱり一番大切なことは聴いて下さるお客さんの支えなので、しっかりお客さんに支持してもらえるように、これからも研鑽を重ねて楽しいコンサートを開催し続けることをMJAの諸君に期待するところである。

